

宇都宮市立横川西小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で宿題をしている」の肯定率は100%で市平均を上回った。漢字の書き取りの練習や計算の復習など継続して取り組ませていきたい。

○「家で授業の復習をしている」(肯定率71.9%)、「家でテストで間違えた問題について勉強している」(肯定率82.3%)は市平均を上回った。やるべきことが明確な学習にはまじめに取り組む児童が多い。

○「授業では自分の考えを発表する機会が与えられている」の肯定率は89.6%で市平均を上回った。今後も、発表の機会を意図的に設け、意見や考えの交流ができるようにしていきたい。

○「学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる」の肯定率は95.8%と高い割合で、市平均を上回った。与えられた仕事にまじめに取り組む、やり遂げることができるので、今後も継続できるように支援していきたい。

○「将来の夢や目標をもっている」の肯定率は93.8%で市平均を上回った。今後も意欲をもって取り組めるように支援していきたい。

●「理科の学習は好きですか」の肯定率は67.7%で市平均を大きく下回った。しかし、「理科の学習は将来のために大切だと思う」肯定率は89.6%で市平均を上回っているため、興味や関心がもてる課題提示を工夫し楽しく取り組めるように、指導法を工夫していきたい。

●家で「計画を立てて勉強している」(肯定率53.3%)、「学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた学習をしている」(肯定率51%)は市平均を下回った。自主学習の意味や仕方を再確認し、家庭学習1時間以上の目標が達成できるように支援していきたい。

●「本やインターネットなどを利用して勉強に関する情報を得ている」の肯定率は35.4%と低く、市の平均を大きく下回っている。学習の仕方や情報の収集・活用などを具体的に指導し、自主学習などにも生かせるようにしていきたい。

●「家での決まりや約束を守っている」(肯定率81.3%)、「家の人と学習について話をしている」(肯定率66.7%)は市平均を10ポイント程度下回っている。家庭と連携し、協力して取り組めるようにしていきたい。